

インドのコンベンションセンター完成

オリコンサルグローバル
・日建設計JVが設計・監理

オリエンタルコンサルタ
ンツグローバル・日建設計
JVが設計・施工監理を手掛
けたインドのコンベンショ
ンセンターが完成した。北
部に位置するヴァラナシ市
に建設した施設は、201
5年12月の日印首脳会談を
契機に「日印友好の象徴」
として計画。1200席規
模のメインホールを核に、
国際会議なども開催可能
だ。市の文化振興や新たな
観光スポットとして注目を
集めそうだ。
完成したコンベンション

センターは、国際協力機構（JICA）の有償資金協力による政府開発援助（ODA）案件としてインド政府が発注した。施設はRC造地下1階地上2階建て延べ9772平方メートルの規模。総事業費は約27・4億円を見込む。設計と施工監理業務をオリコンサルJVが担当。フジタが施工した。

首脳会議をきっかけに実現した同施設はメインホールや舞台機構設備などを備える。ナレンドラ・モディ首相は英知の象徴となるよう祈念し、施設を「ルドラクシャ（菩提へばだい）樹の実」と名付けた。

7月15日に現地で行われた開所式には、モディ首相や松本勝男JICAインド事務所長ら関係者が出席。施設の完成を祝った。菅義偉首相もビデオメッセージ

で祝辞を述べた。